

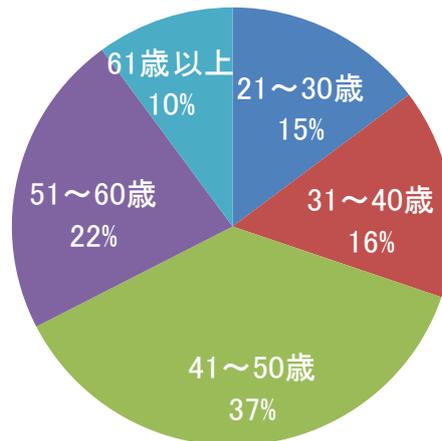
# 企業によるアンケート結果

# 日本企業

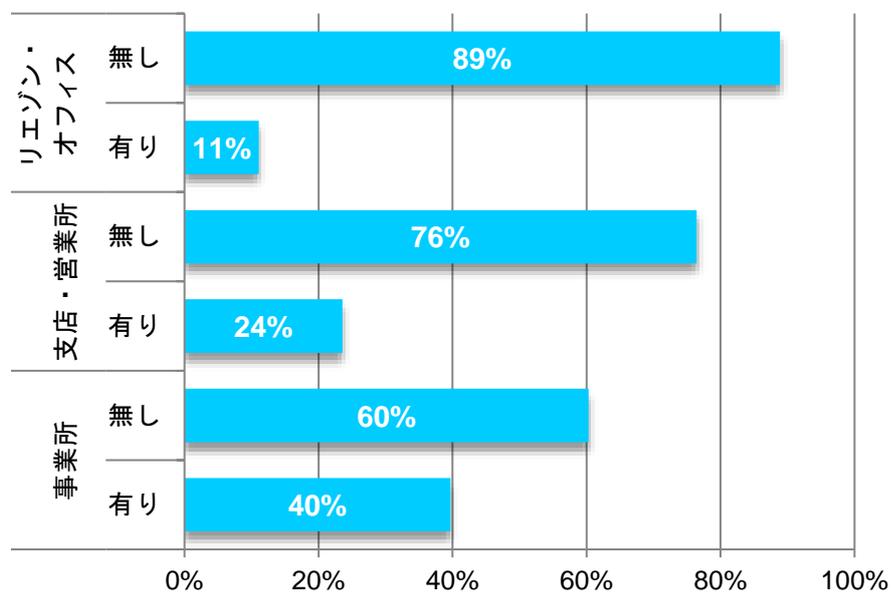
●有効回答者数:131社

## 属性

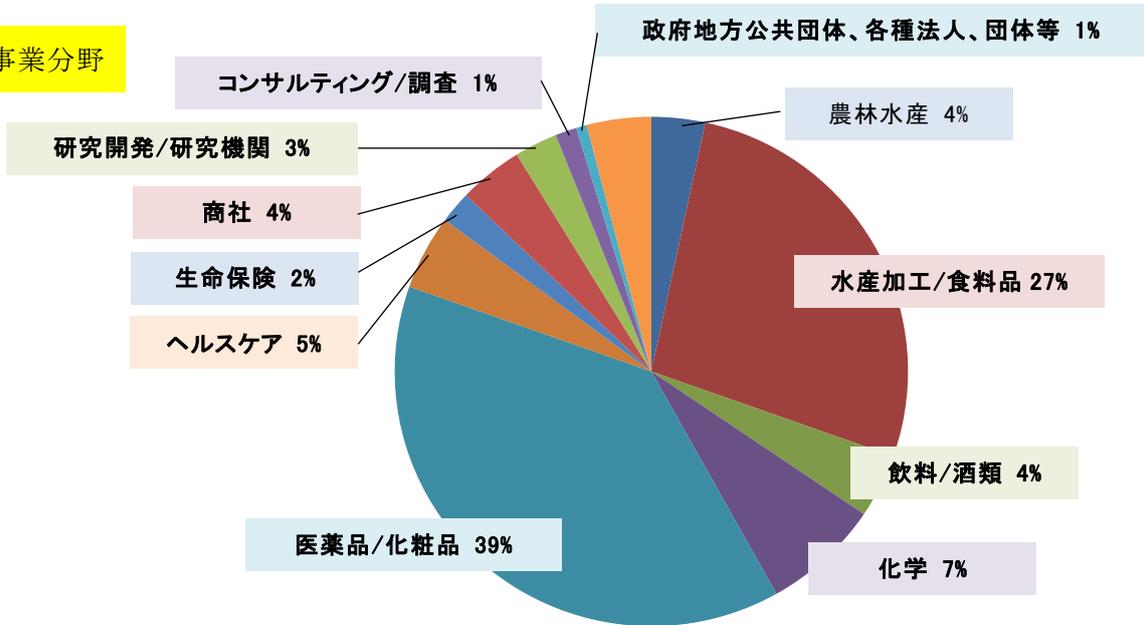
### 回答者年齢



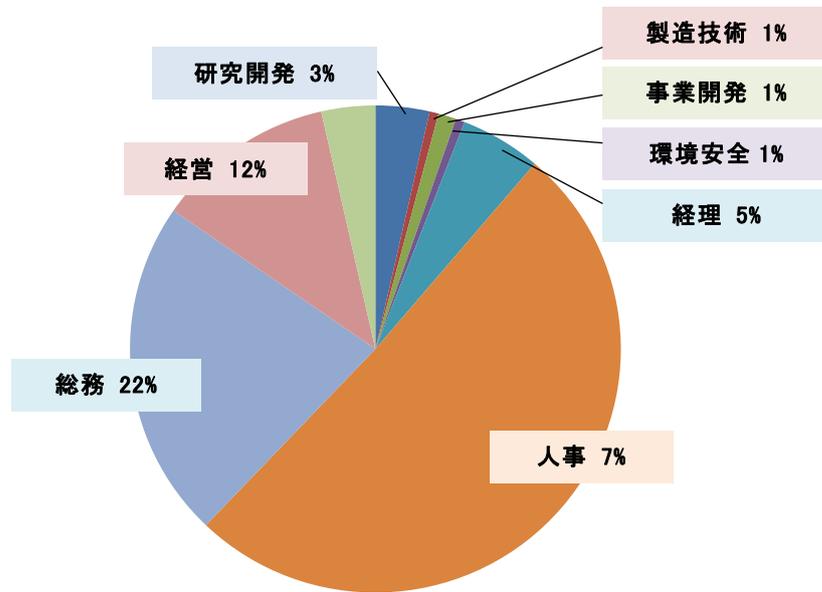
### 所属企業について（海外に）



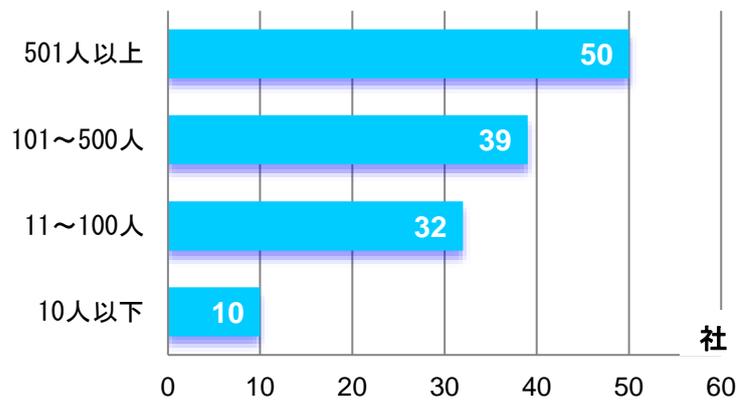
事業分野



担当の職種

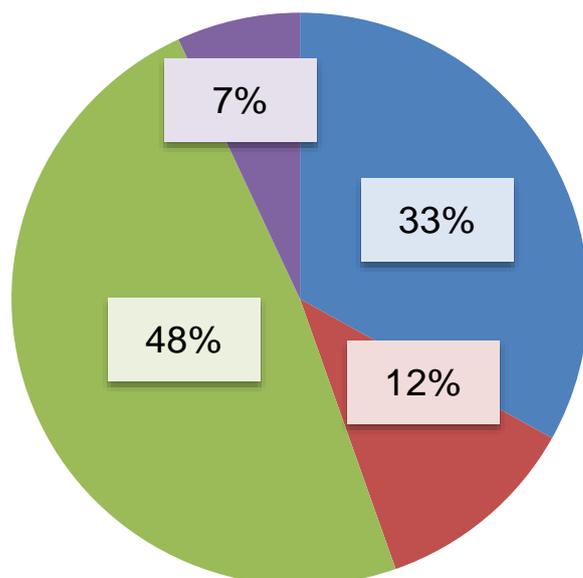


従業員数

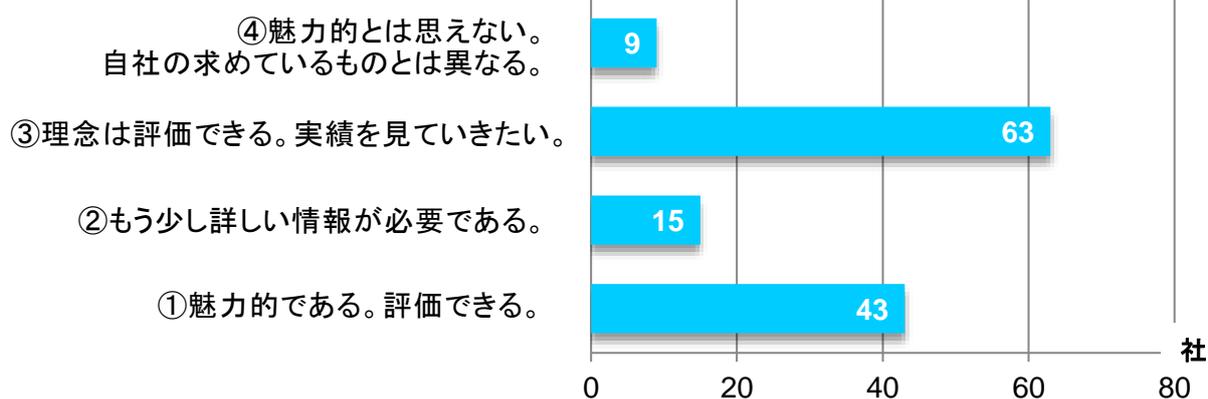


## 各項目の結果

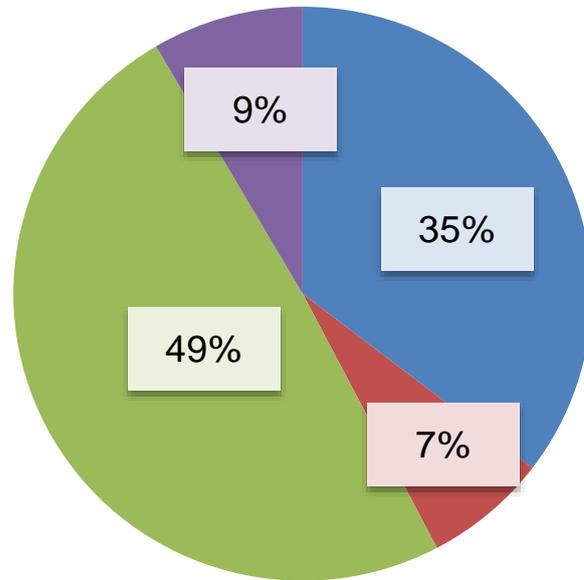
Ⅱ-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)は、世界規模で問題となっている「食料」と「健康」をテーマとして取り扱います。例えば、食に関わる健康障害・生活習慣病、食料の確保問題、医療費の削減などの課題を、農学と医科学を融合した分野横断的な視点から解決する力を「海外武者修行」を通して養うことを目標としています。このような分野横断型でしかもグローバルな視点から人材育成を目指す本プログラムの理念についてどのような印象をお持ちになりましたか。



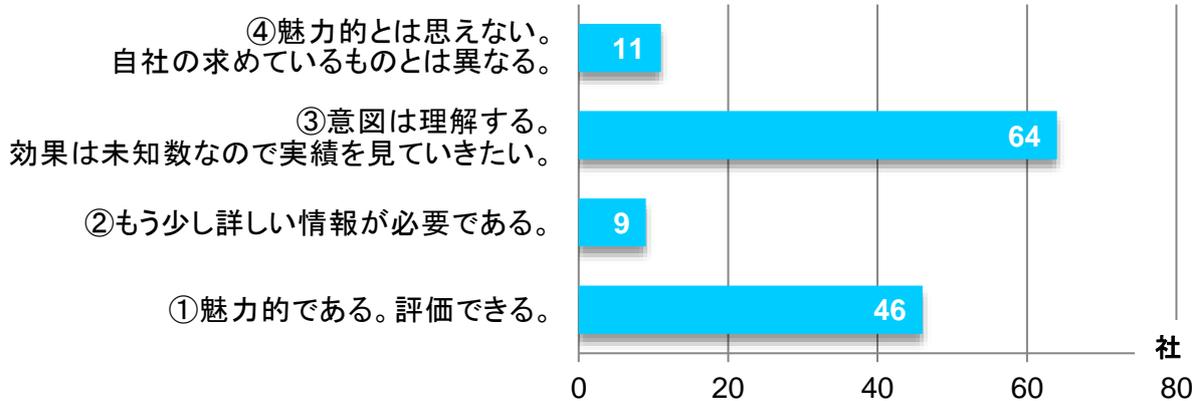
- ① 魅力的である。評価できる。
- ② もう少し詳しい情報が必要である。
- ③ 理念は評価できる。実績を見ていきたい。
- ④ 魅力的とは思えない。自社の求めているものとは異なる。



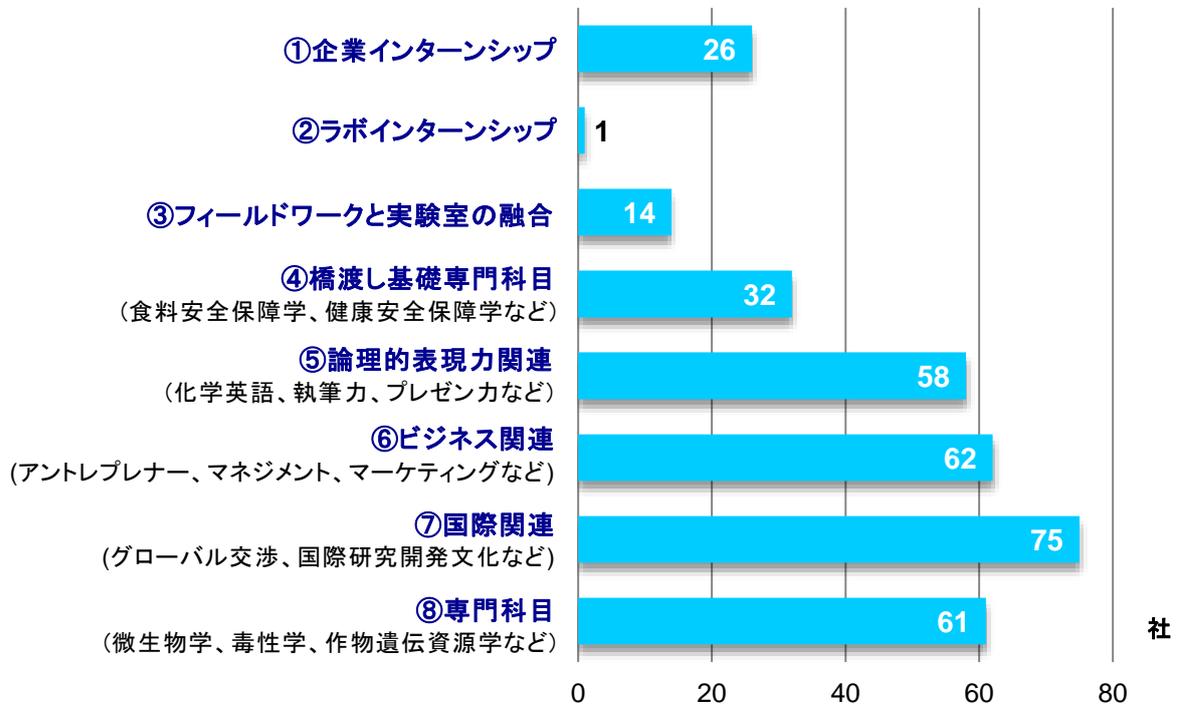
Ⅱ-2. 本プログラムでは学期毎に、①筑波大学→②国立台湾大学→③ボルドー大学→④母国(もしくは希望する大学)とそれぞれの地域(国)に滞在し学修する「海外武者修行」を実施します。3つの大学を移動することで、各国のフィールドワークや企業インターンシップを実体験します。この新たなカリキュラムについて、どのような印象をお持ちになりましたか。



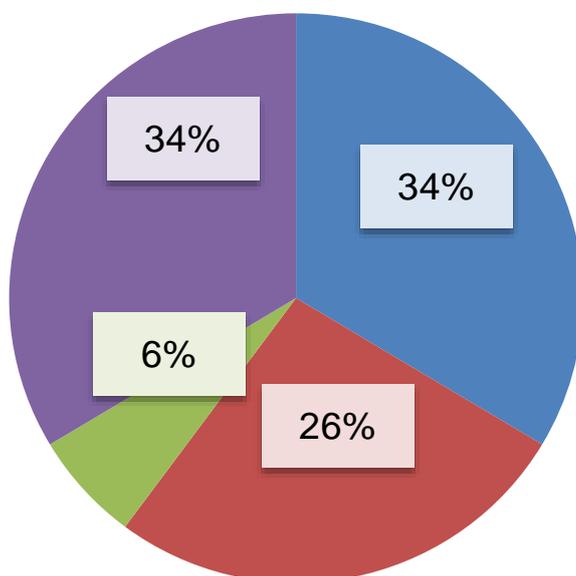
- ①魅力的である。評価できる。
- ②もう少し詳しい情報が必要である。
- ③意図は理解できる。効果は未知数なので実績を見ていきたい。
- ④魅力的とは思えない。自社の求めているものとは異なる。



Ⅱ-3-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)では、下記の科目を設定しています。この中で、貴社が重要と考えられる科目があれば最大3つまで選んでください。該当欄にチェックをお願いします。(複数回答可)



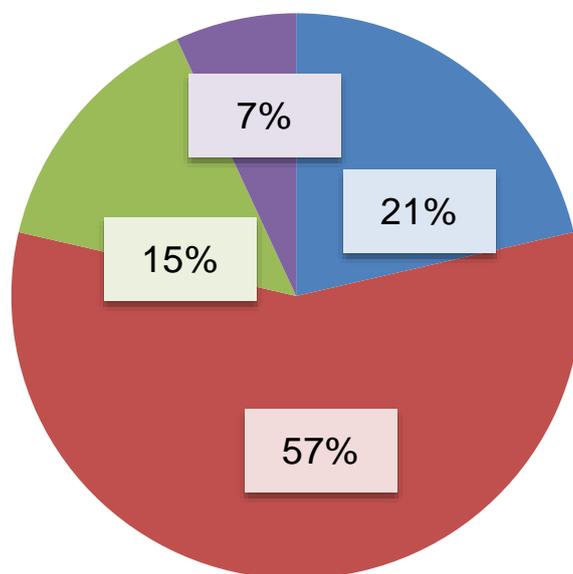
Ⅱ-4.本プログラムでは、2年間で海外への渡航や通常よりも多くの科目を履修するため、望ましい評価方法として特定課題研究や GLidD を導入します。評価方法として、特定課題研究や GLidD を導入することをどのように思われますか。



- ①新たな評価基準として理解する。
- ②このような評価形式もある程度は必要。
- ③このような手法で評価できるかは疑問。
- ④情報が不足しており、現時点は判断しがたい。

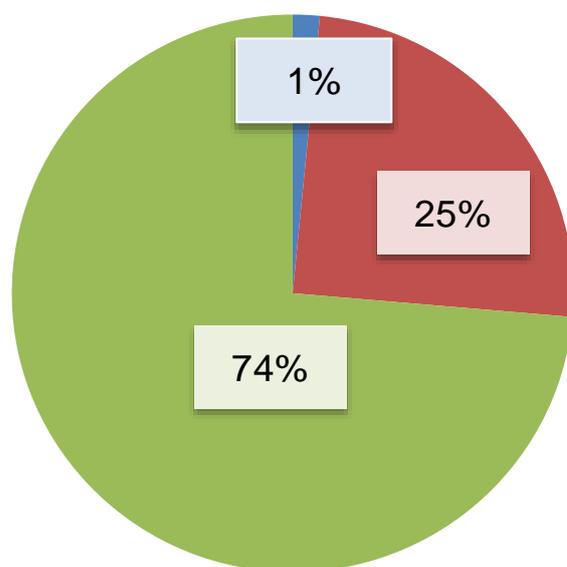
◇ 情報不足により、現時点では判断し難いや GLidD の有効性に疑問を抱かれている回答は 35%であった。GLidD は、多くの企業人にとっては新しい概念であることから、③のようなマイナス評価が少ないことは、新しい判断基準が求められている結果と考えられる。

Ⅲ-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)では、日本人学生もしくは海外の留学生(主に台湾人などのアジア人、フランス人などの欧米人)のインターンシップ(1ヶ月程度を想定)を重視しています。貴社はインターンシップの制度をお持ちでしょうか？



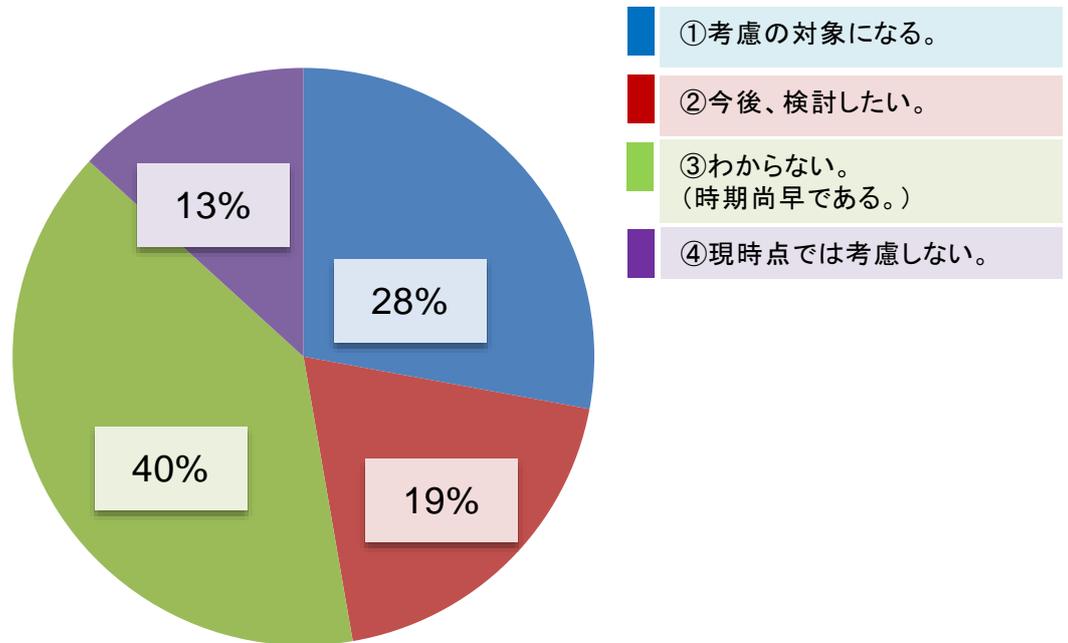
- ①制度がある。
- ②制度がない。
- ③インターンシップの制度はないが、今後検討したい。
- ④インターンシップに興味がない。

Ⅲ-2. 本プログラム(GIP-TRIAD)を修了した学生は、世界で様々な体験をして、企業において大きな戦力として活躍することが期待できます。ただし、在学中は海外渡航などの負担が大きくなることが予想されます。仮に、学生の支援のために支援金(奨学金)制度などが整備できましたら、支援していただける可能性はございますか。

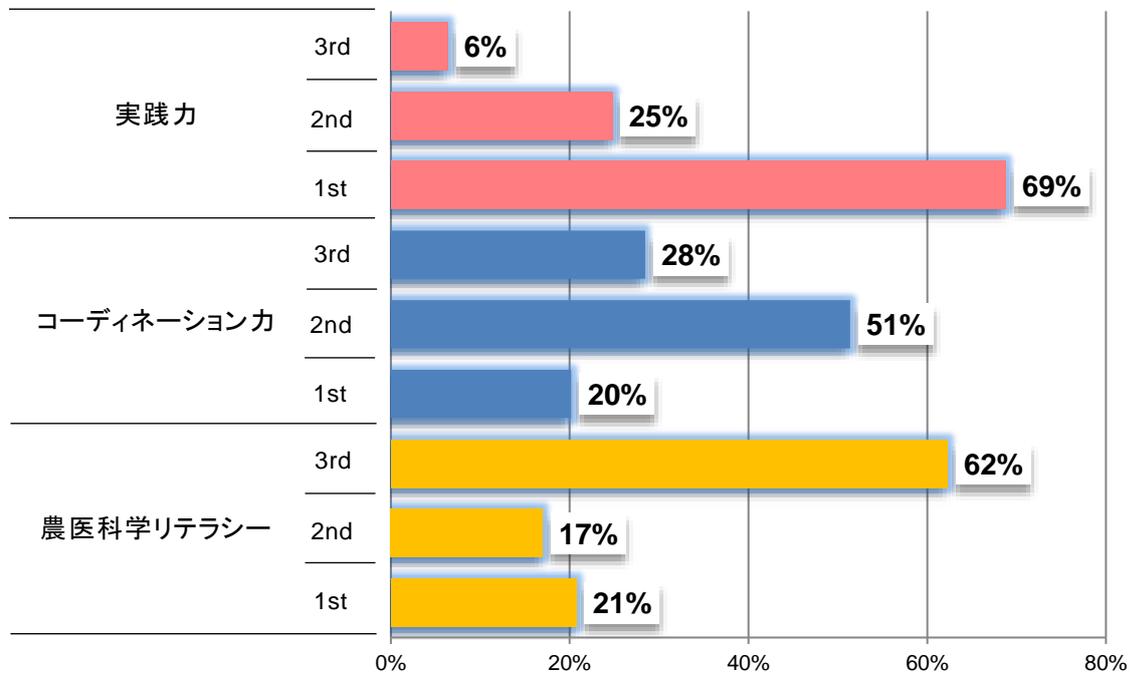


- ①支援しても良いと考える。
- ②詳しい話を聞いてから考える。
- ③今の所、支援する予定はない。

Ⅲ-3. 本プログラム(GIP-TRIAD)の修了生は、地球規模の課題に対して様々なフィールドでリーダーシップを発揮して事業やプロジェクトをコーディネート、マネジメントするような国際的に活躍できる高度職業人(グローバルイノベーション人材)となることが期待されます。貴社またはあなたが学生を採用する場合、本プログラムの特色である農学と医科学を融合した分野横断的な視点を養うカリキュラムでの学修や「海外武者修行」での経験を考慮しますか。



Ⅲ-4-1. プログラム(GIP-TRIAD)を修了した学生は世界で活躍することを期待しています。そのために身につけておくべき素養を大きく分けて、下記のように3つあると考えております。貴社(又はあなた)が重要と考える素養に順位を付けて下さい

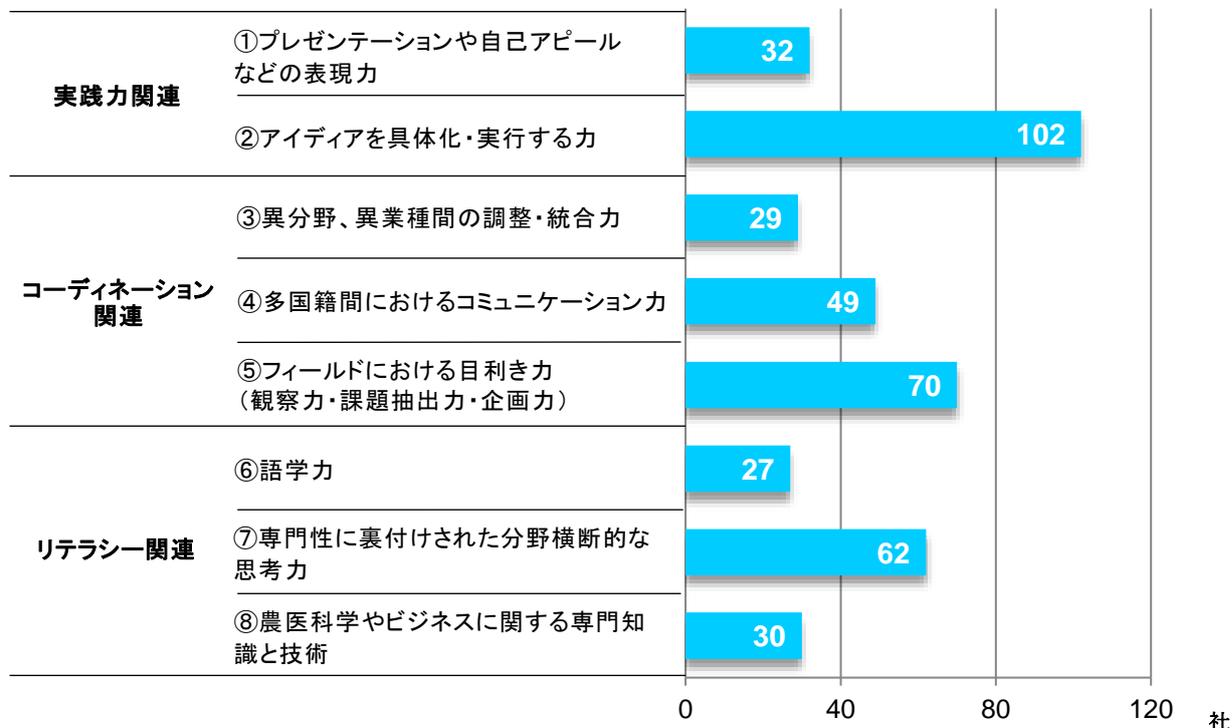


※パーセンテージは、各項目の順位(1位~3位)の合計を母数とした割合を示す。

各項目の母数は等しい。

※最も多くの人々が1位に選んだものは実践力。

Ⅲ-4-2. 4-1 で示した素養には、下記に示す項目が含まれています。貴社の既存事業、新規の事業展開から考えて特に重要とお考えの項目を3つお選びください。



☆ 一位に評価された「実践力」のうちの2項目では、「②アイデアを具現化・実行する力」に相対的に多くの方が重要視していることが明らかになった。筑波大学は、多様な素養の中で、②、⑤、⑦に係る素養を産業界が重視していることを念頭に置き、カリキュラムの構成を充実させていくことが求められる

## 日本の企業について

●アンケートの説明文のみの情報にもかかわらず、魅力的であり、実績をみたいと評価されたことは、GIP-TRIAD の基本理念が時代の趨勢に合致していると考えてよいのではと判断される。

●筑波大学の教育の国際化の新たな取組“GIP-TRIAD”への期待は高く、全体としての反応は好意的である。グローバル化が避けられない産業界に問題意識と筑波大学の取組のベクトルはズレていないと判断される。ベクトルを合わせていくためにも、産業界の認知を得るべく今後の PR 活動が重要になると考えられる。既に、アンケート段階で、対応に積極的な下記の国際的な企業もみられることは、取組の方向性に間違いがないことの証と思われる。このように、外部からの評価が高いということは、改革に取り組むプロジェクトメンバーには心強い結果である。

●GIP-TRIAD が画期的且つ革新的な取組であり、グローバル化している産業界としては大いに期待するところ大との応援のコメントが多い。筑波大学が狙っている「学生の実践力」の向上に期待を寄せているコメントもいくつかみられる「方向性」に自信を持てる結果といえる。

### 有益な自由記述の例示(引用)

・我々は仏系 BNP パリバ グループの保険会社です。今後、新卒採用を始める予定ですので、どこかで接点を持てればありがたいです。貴大学でのプログラムで、3 か国の大学との共同であること、それにより学生が多文化の環境に早く慣れることが出来ると思っております。又、企業での現場実習も非常にいい経験になると思います。何か、お手伝いできることが有れば、お知らせください。

・海外 6 か国(進出予定も含めると 7 か国 インドネシア)に現地子会社があります(米国、中国、台湾、フランス、ベルギー、オランダ)。将来的には、留学生の出身国と当社の進出国が同じ人材を日本で教育し、進出国で活躍して欲しいと思っています。当社にご興味のある海外留学生がいれば、企業名だけでもご周知ください。

・他の大学では見られない仕組みであり、是非成果を見てみたい。

・この新しい試みに賛同する企業や大学が増え、より有意義なものになってほしい。

・実践するなら、国を挙げて取り組むべき。

・こうした取り組みをプレゼンテーションする機会をもっと増やすべきである。

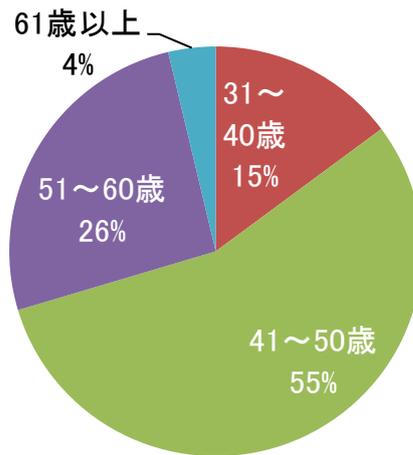
これらは、いずれも、GIP-TRIAD を否定するものではなく、貴重な意見として今後の実施に取り入れていくべきものとする。

# 台湾企業

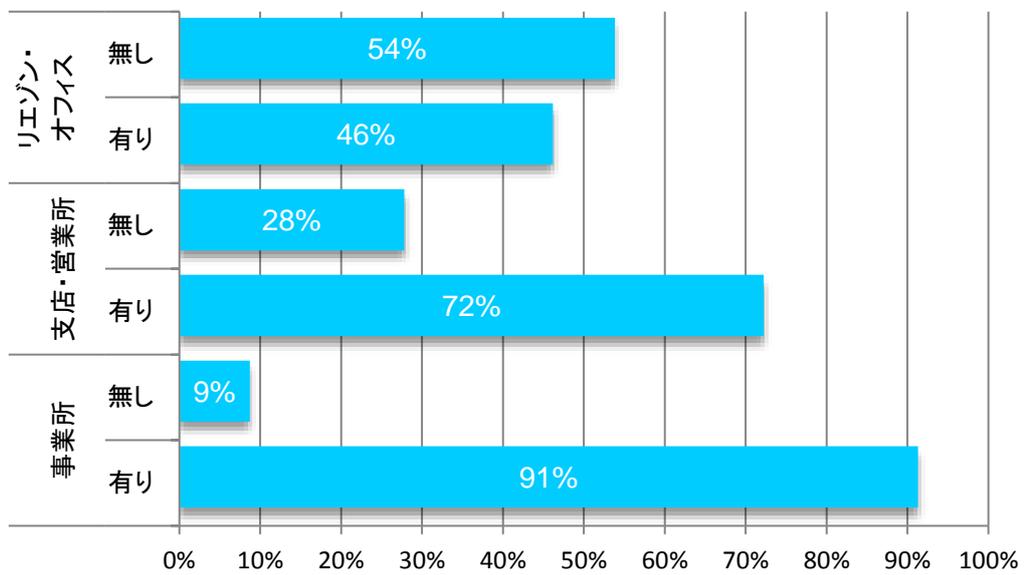
●有効回答者数:27社

## 属性

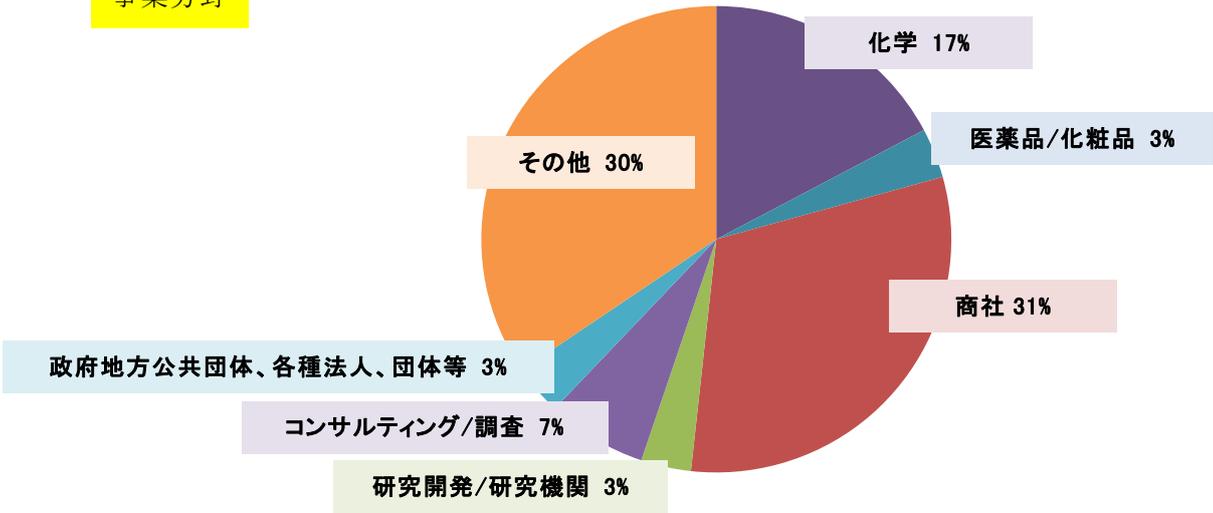
### 回答者年齢



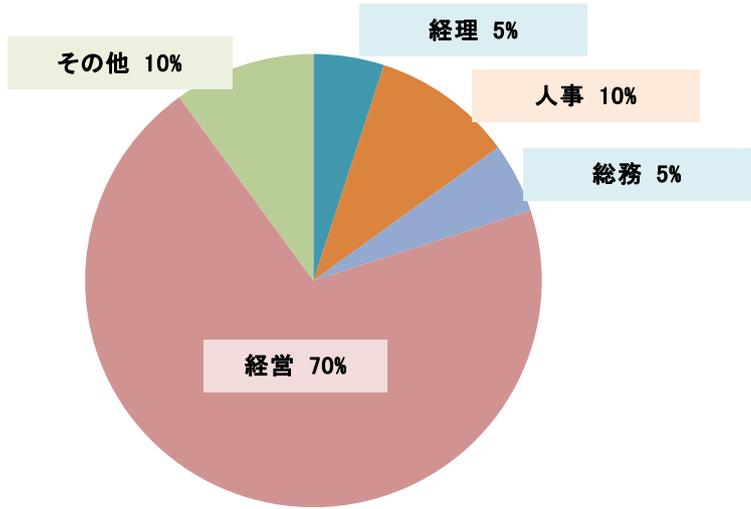
### 所属企業について（海外に）



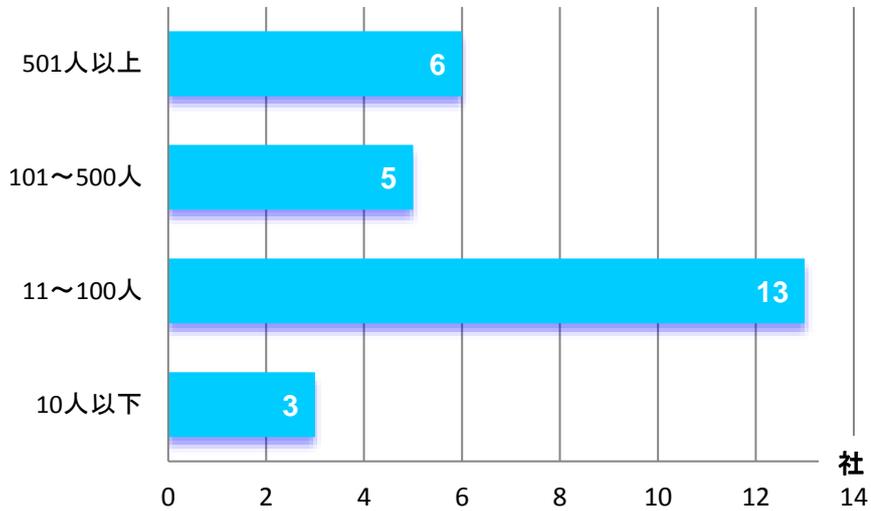
事業分野



担当の職種

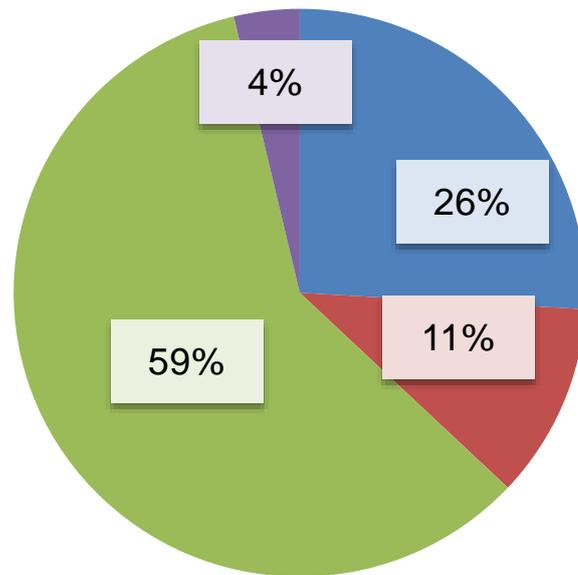


従業員数

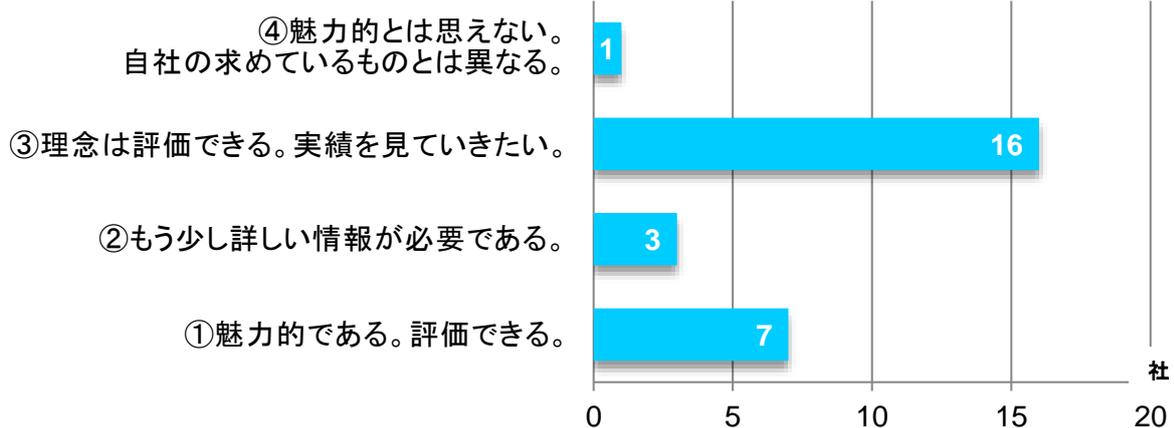


## 各項目の結果

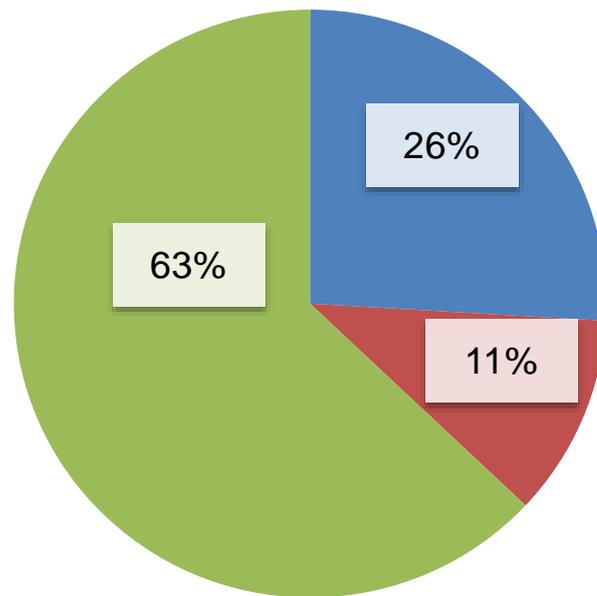
Ⅱ-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)は、世界規模で問題となっている「食料」と「健康」をテーマとして取り扱います。例えば、食に関わる健康障害・生活習慣病、食料の確保問題、医療費の削減などの課題を、農学と医科学を融合した分野横断的な視点から解決する力を「海外武者修行」を通して養うことを目標としています。このような分野横断型でしかもグローバルな視点から人材育成を目指す本プログラムの理念についてどのような印象をお持ちになりましたか。



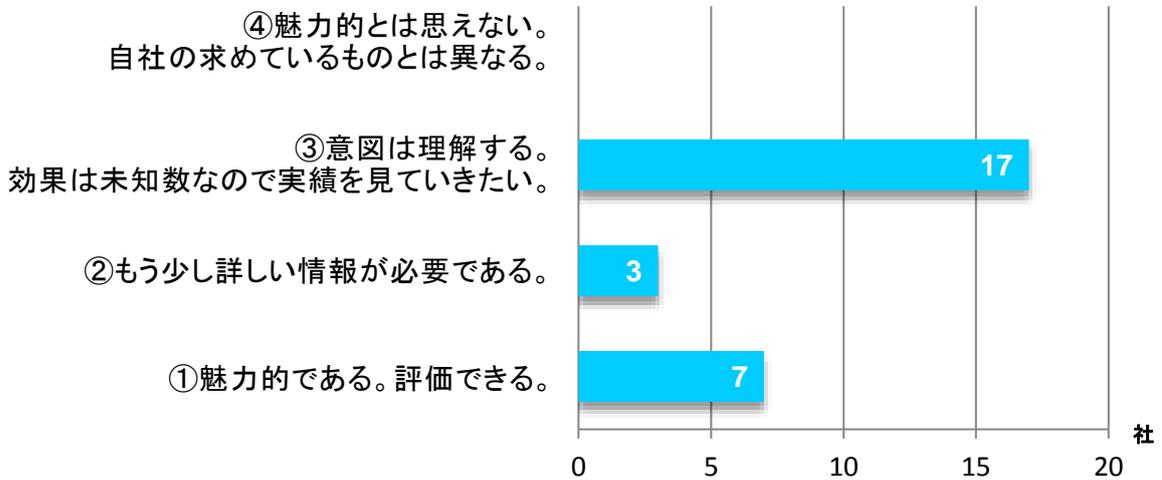
- ①魅力的である。評価できる。
- ②もう少し詳しい情報が必要である。
- ③理念は評価できる。実績を見ていきたい。
- ④魅力的とは思えない。自社の求めているものとは異なる。



Ⅱ-2. 本プログラムでは学期毎に、①筑波大学→②国立台湾大学→③ボルドー大学→④母国(もしくは希望する大学)とそれぞれの地域(国)に滞在し学修する「海外武者修行」を実施します。3つの大学を移動することで、各国のフィールドワークや企業インターンシップを実体験します。この新たなカリキュラムについて、どのような印象をお持ちになりましたか。

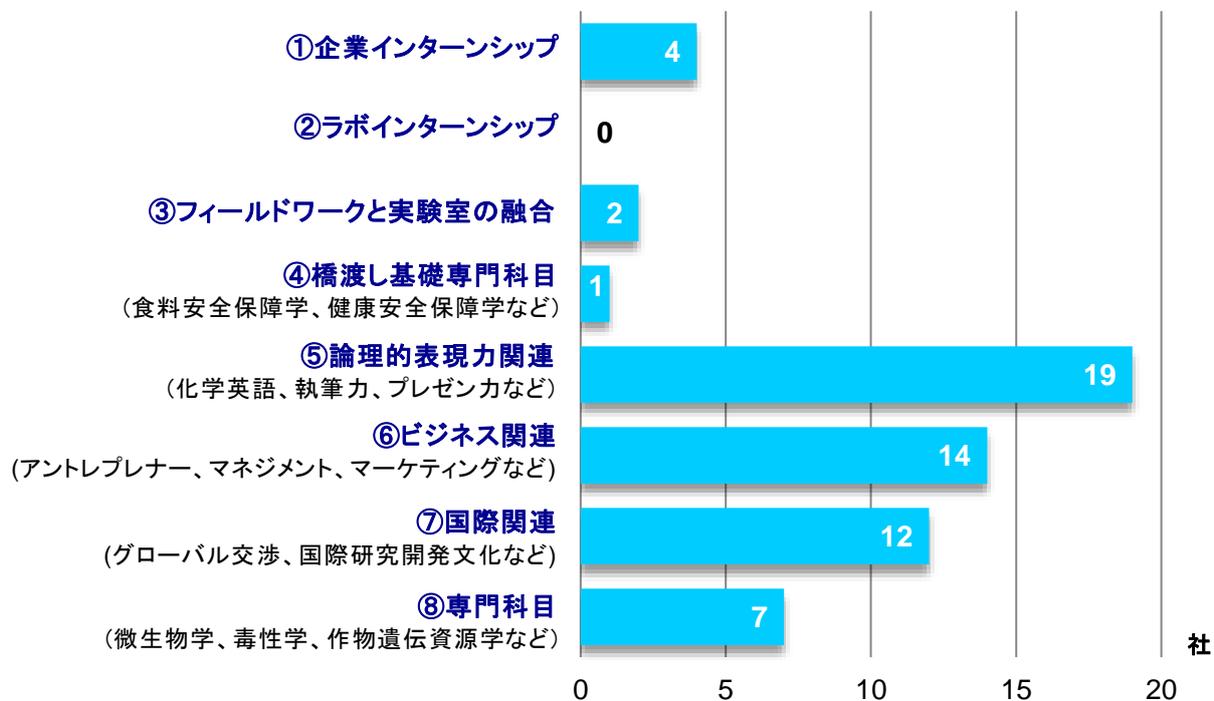


- ①魅力的である。評価できる。
- ②もう少し詳しい情報が必要である。
- ③意図は理解できる。効果は未知数なので実績を見ていきたい。
- ④魅力的とは思えない。自社の求めているものとは異なる。

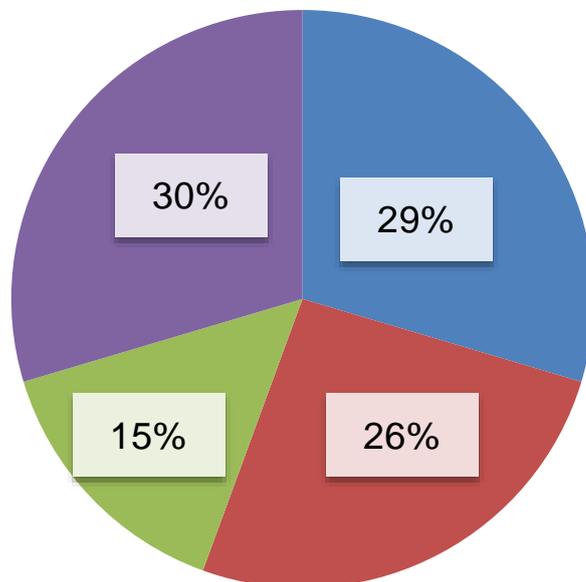


◇ Ⅱ-1 及びⅡ-2 の結果は、プラスの評価となる①+③が 85%(Ⅱ-1)、89%(Ⅱ-2)と高く、GIP-TRIAD への賛同を示していると思われる。

Ⅱ-3-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)では、下記の科目を設定しています。この中で、貴社が重要と考えられる科目があれば最大3つまで選んでください。該当欄にチェックをお願いします。(複数回答可)



Ⅱ-4.本プログラムでは、2年間で海外への渡航や通常よりも多くの科目を履修するため、望ましい評価方法として特定課題研究や GLidD を導入します。評価方法として、特定課題研究や GLidD を導入することをどのように思われますか。



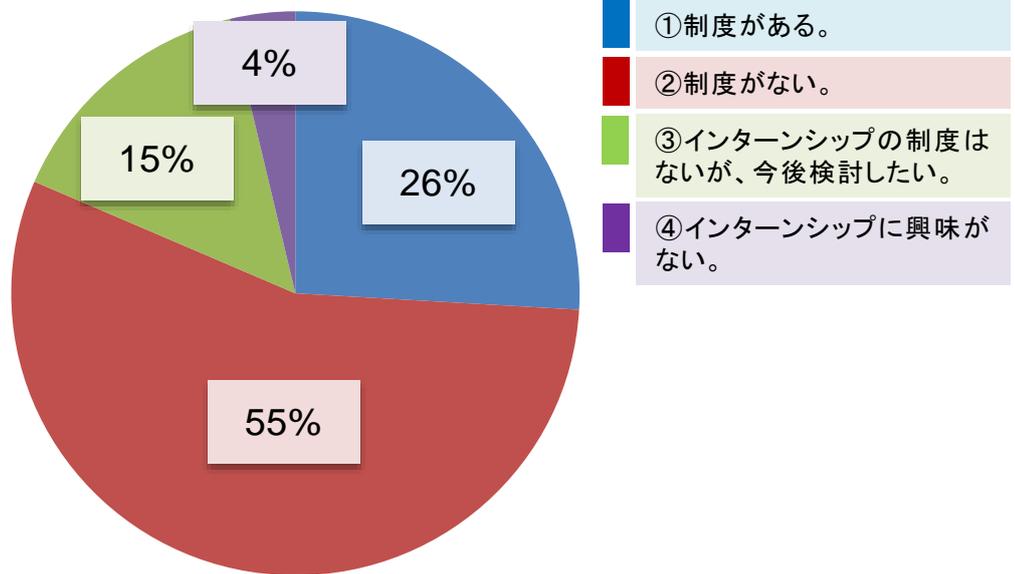
① 新たな評価基準として理解する。

② このような評価形式もある程度は必要。

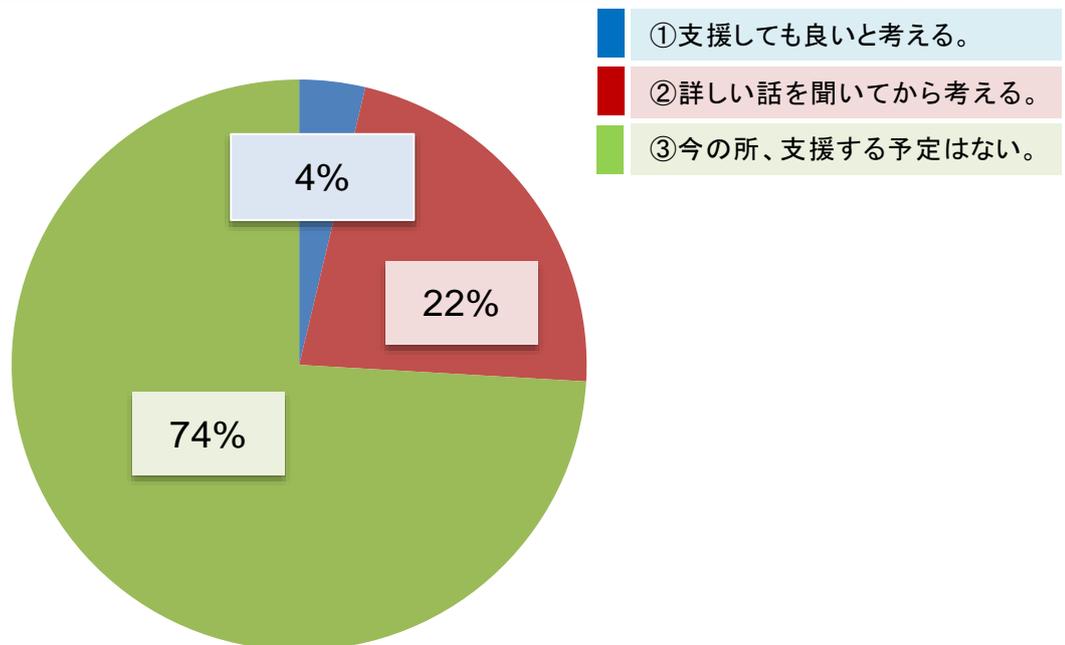
③ このような手法で評価できるかは疑問。

④ 情報が不足しており、現時点は判断しがたい。

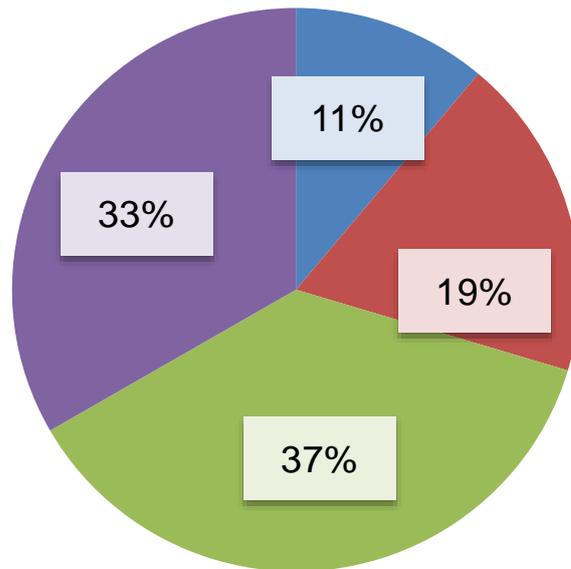
Ⅲ-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)では、日本人学生もしくは海外の留学生(主に台湾人などのアジア人、フランス人などの欧米人)のインターンシップ(1ヶ月程度を想定)を重視しています。貴社はインターンシップの制度をお持ちでしょうか？



Ⅲ-2. 本プログラム(GIP-TRIAD)を修了した学生は、世界で様々な体験をして、企業において大きな戦力として活躍することが期待できます。ただし、在学中は海外渡航などの負担が大きくなることが予想されます。仮に、学生の支援のために支援金(奨学金)制度などが整備できましたら、支援していただける可能性はございますか。

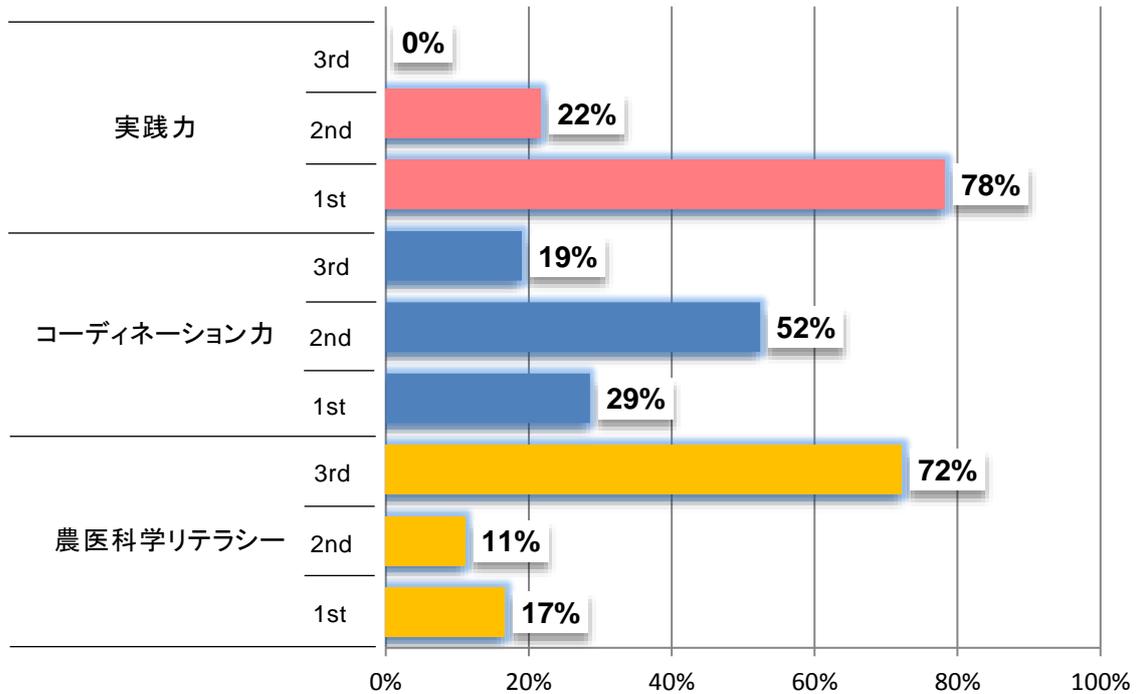


Ⅲ-3. 本プログラム(GIP-TRIAD)の修了生は、地球規模の課題に対して様々なフィールドでリーダーシップを発揮して事業やプロジェクトをコーディネート、マネジメントするような国際的に活躍できる高度職業人(グローバルイノベーション人材)となることが期待されます。貴社またはあなたが学生を採用する場合、本プログラムの特色である農学と医科学を融合した分野横断的な視点を養うカリキュラムでの学修や「海外武者修行」での経験を考慮しますか。



- ①考慮の対象になる。
- ②今後、検討したい。
- ③わからない。(時期尚早である。)
- ④現時点では考慮しない。

Ⅲ-4-1. プログラム(GIP-TRIAD)を修了した学生は世界で活躍することを期待しています。そのために身につけておくべき素養を大きく分けて、下記のように3つあると考えております。貴社(又はあなた)が重要と考える素養に順位を付けて下さい。

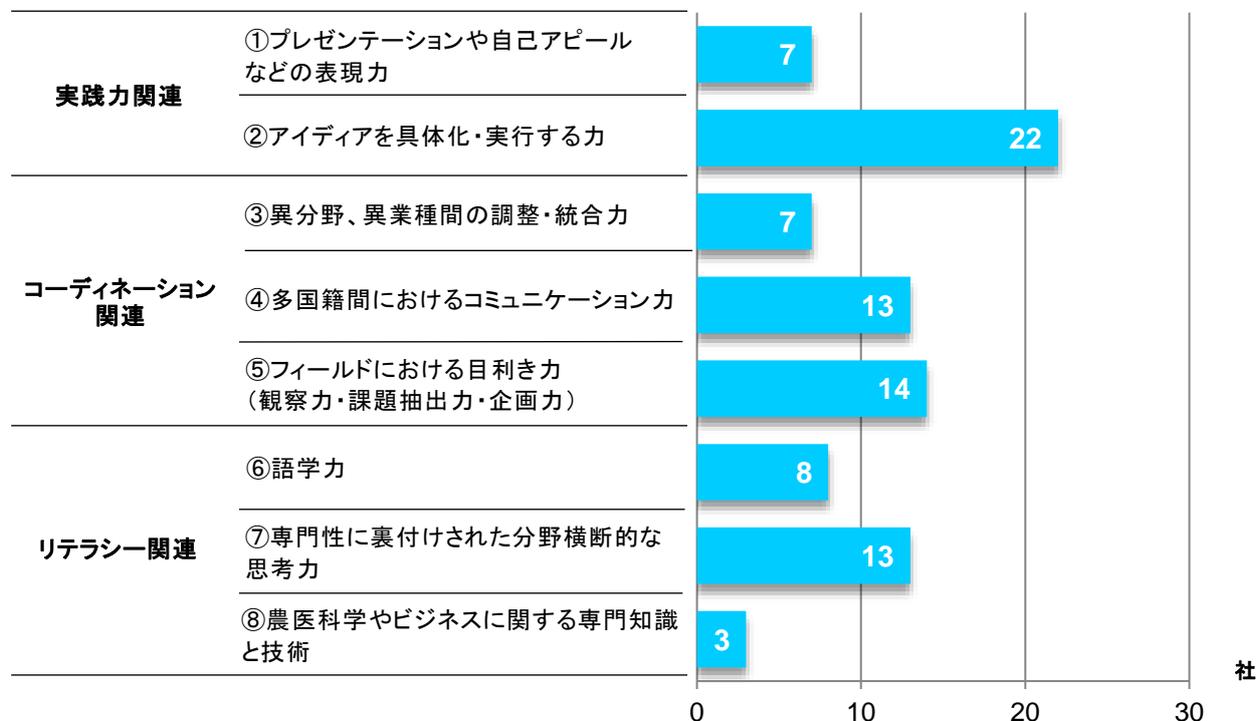


※パーセンテージは、各項目の順位(1位~3位)の合計を母数とした割合を示す。

各項目の母数は等しい。

※最も多くの人々が1位に選んだものは実践力。

Ⅲ-4-2. 4-1 で示した素養には、下記に示す項目が含まれています。貴社の既存事業、新規の事業展開から考えて特に重要とお考えの項目を3つお選びください。



◇ Ⅲ-4-1.2 台湾の場合も、農医科学リテラシー、コーディネーション力、実践力の三つの素養で、最も重要であるとされ、1位に挙げられたのは実践力であった。続いて、コーディネーション力、3位が農医科学リテラシーである。人と組織を動かす素養への関心の高さが浮き彫りにされたと考えられる。

## 台湾の企業について

●台湾の結果から、台湾特異的な傾向は認められなかった。日本の子会社が多く、また、日本人による回答が多かったことから、ほとんどが日本と同様の結果となったかもしれない。

●台湾の日本企業の支社や支店と言う位置付けのためか、会社としての回答は出来ないという記述が多かった。その前提で、個人的な意見が述べられているが、GIP-TRIAD の意義を認め、サポートするとの意見や注文を付記されている記述が多く認められた。

### 有益な自由記述の例示(引用)

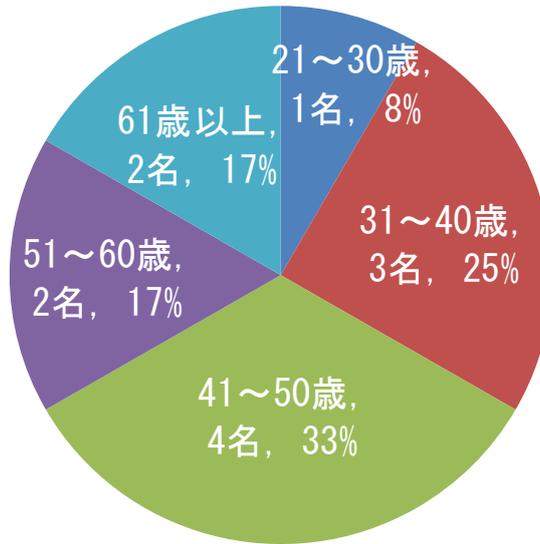
・この取り組みは、社会にとっては魅力的な活動であるため、是非、推進していただきたいが、企業の一員としては、弊社企業活動との関連性がないため、支援・協力などに関しては期待に添えません。あしからず。尚、「食料」と「健康」のウェルネスであれば、共同研究などの可能性はあるかと存じます。

# フランス企業

● 有効回答者数: 12 社

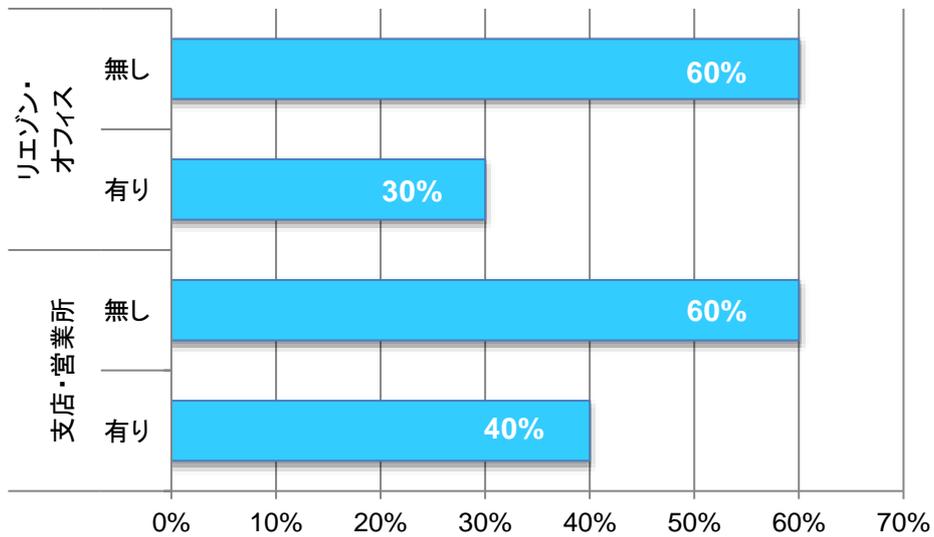
## 属性

### 回答者年齢

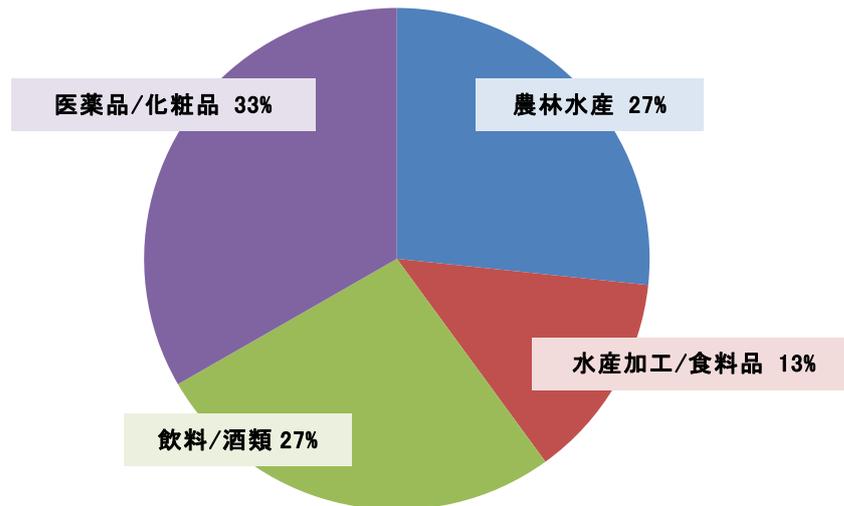


### 所属企業について

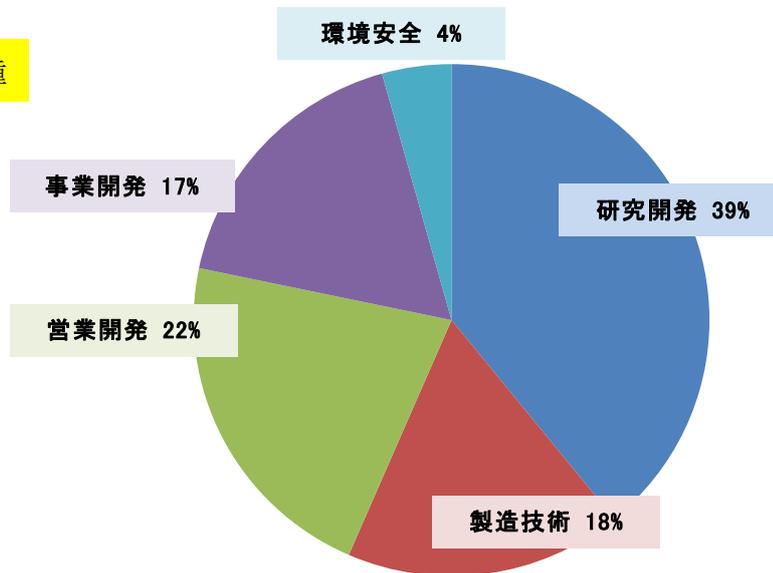
(日本における)



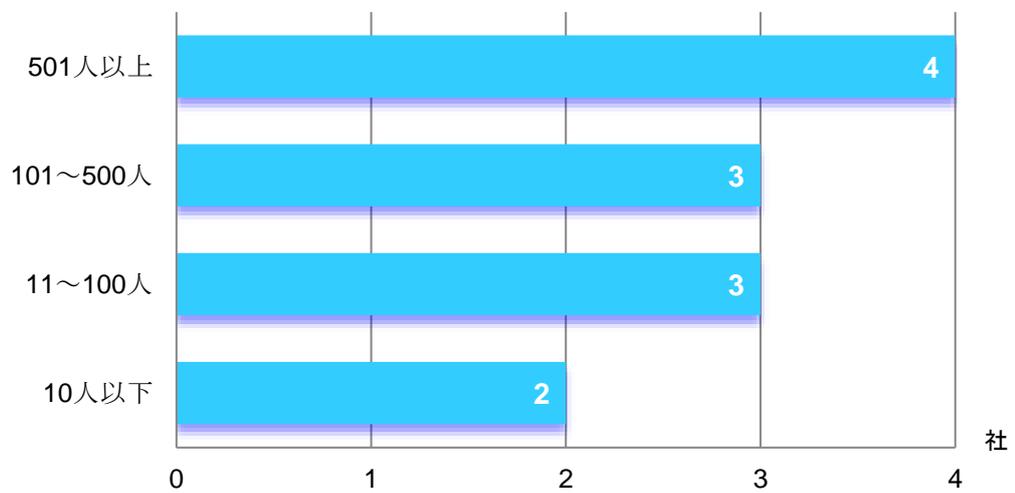
事業分野



担当の職種

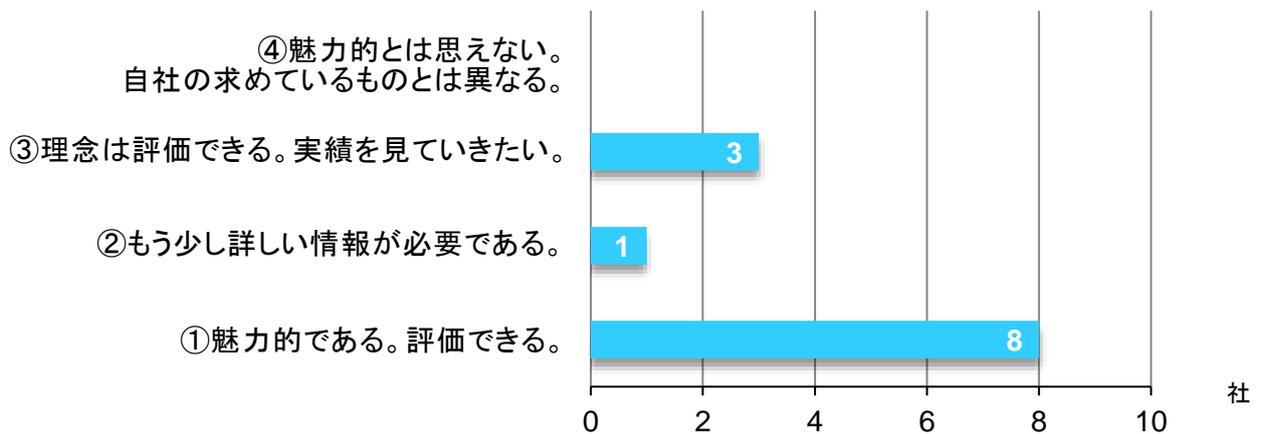
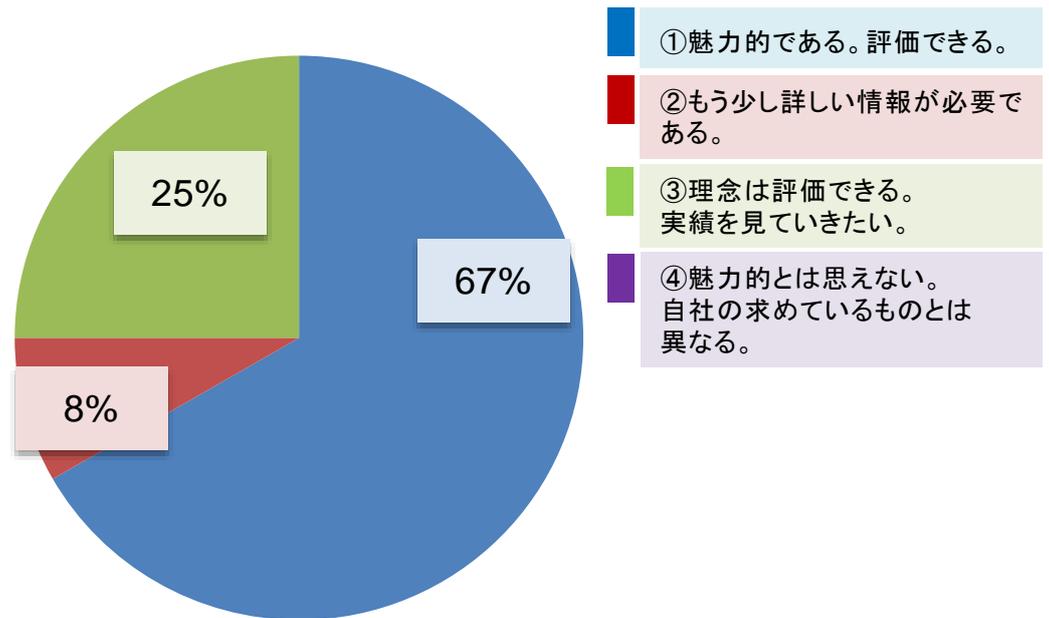


従業員数

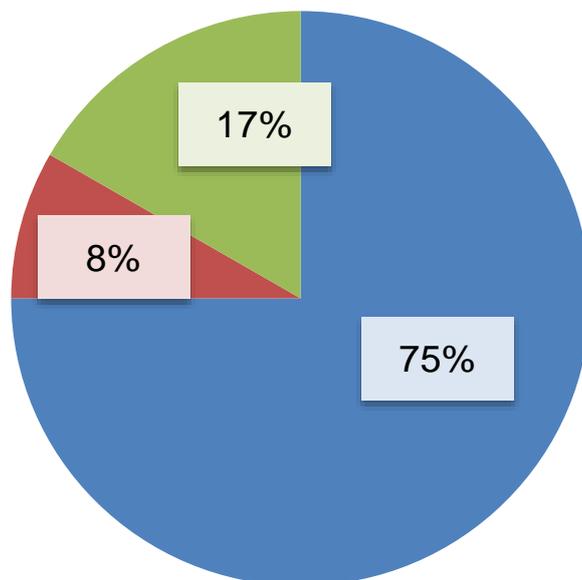


## 各項目の結果

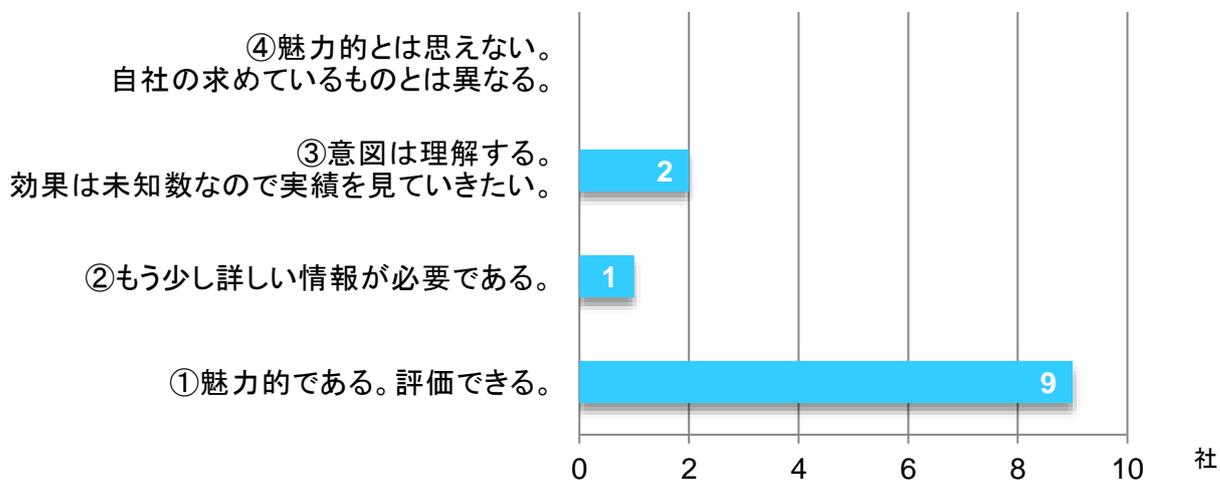
Ⅱ-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)は、世界規模で問題となっている「食料」と「健康」をテーマとして取り扱います。例えば、食に関わる健康障害・生活習慣病、食料の確保問題、医療費の削減などの課題を、農学と医科学を融合した分野横断的な視点から解決する力を「海外武者修行」を通して養うことを目標としています。このような分野横断型でしかもグローバルな視点から人材育成を目指す本プログラムの理念についてどのような印象をお持ちになりましたか。



Ⅱ-2. 本プログラムでは学期毎に、①筑波大学→②国立台湾大学→③ボルドー大学→④母国(もしくは希望する大学)とそれぞれの地域(国)に滞在し学修する「海外武者修行」を実施します。3つの大学を移動することで、各国のフィールドワークや企業インターンシップを実体験します。この新たなカリキュラムについて、どのような印象をお持ちになりましたか。

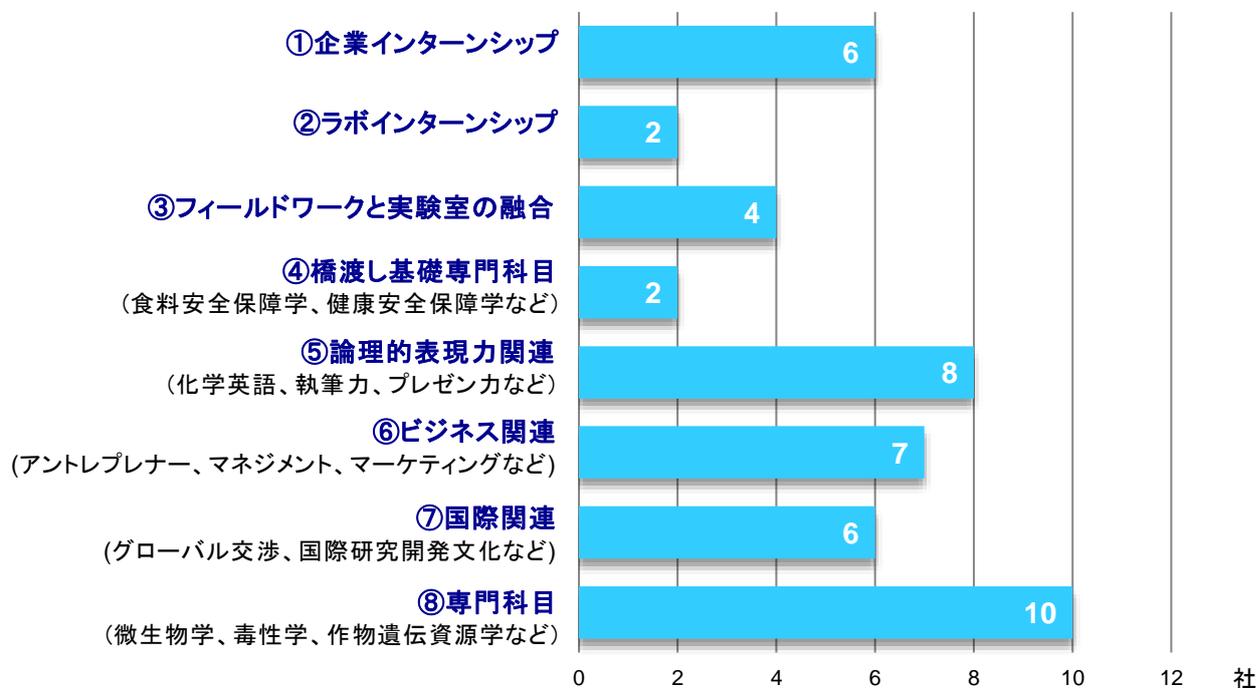


- ①魅力的である。評価できる。
- ②もう少し詳しい情報が必要である。
- ③意図は理解できる。効果は未知数なので実績を見ていきたい。
- ④魅力的とは思えない。自社の求めているものとは異なる。

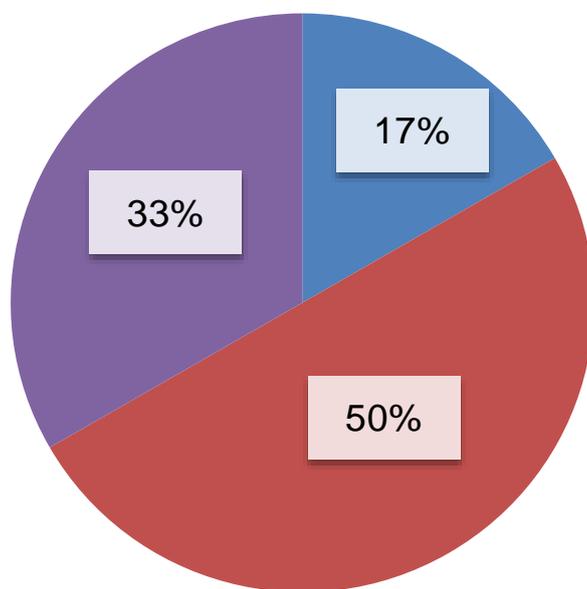


◇ Ⅱ-1.2 プラスの評価となる①+③は、日本や台湾の 81%(84%)や 85% (89%)と大差はないものの、1 だけで比較するとフランス企業の場合、圧倒的に 1 が多かった。ヨーロッパ人は、本プログラムのような新規案を、よりポジティブに捉えていることが窺えた。

II-3-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)では、下記の科目を設定しています。この中で、貴社が重要と考えられる科目があれば最大3つまで選んでください。該当欄にチェックをお願いします。(複数回答可)



Ⅱ-4.本プログラムでは、2年間で海外への渡航や通常よりも多くの科目を履修するため、望ましい評価方法として特定課題研究やGLiDを導入します。評価方法として、特定課題研究やGLiDを導入することをどのように思われますか。



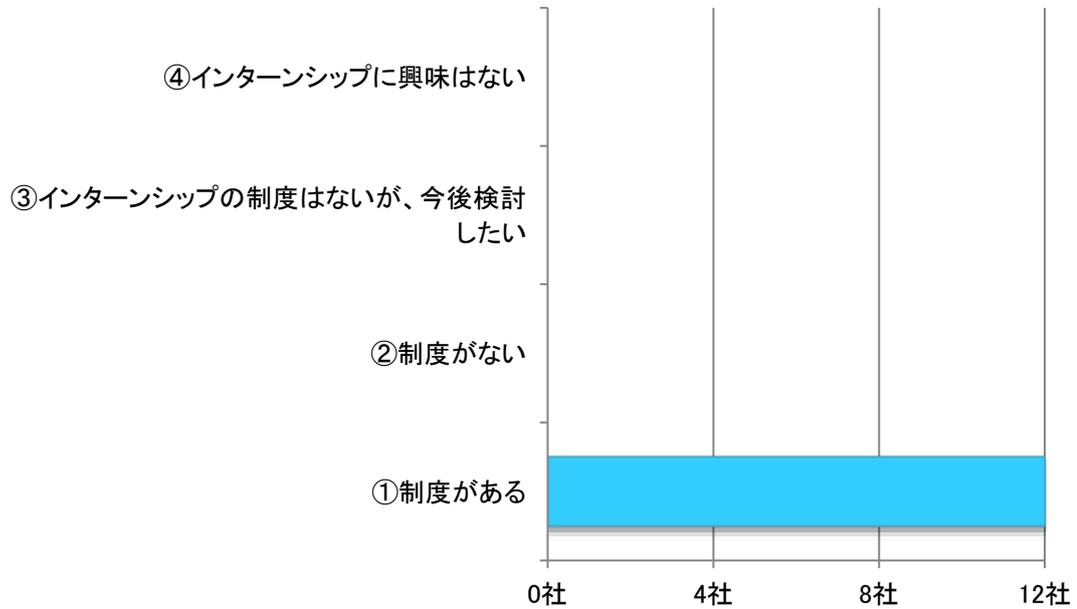
① 新たな評価基準として理解する。

② このような評価形式もある程度は必要。

③ このような手法で評価できるかは疑問。

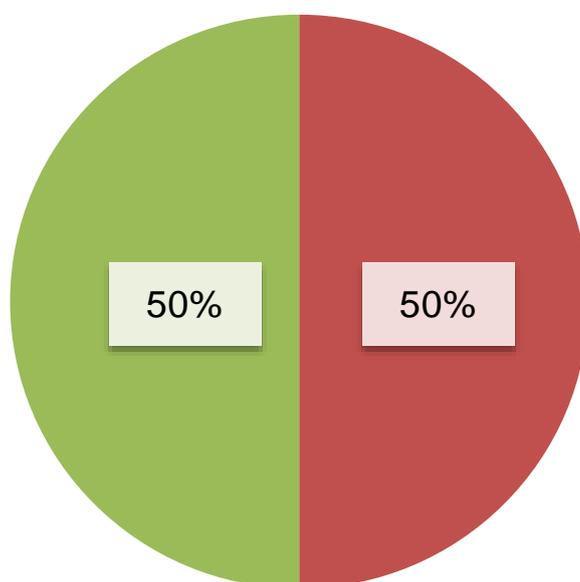
④ 情報が不足しており、現時点は判断しがたい。

Ⅲ-1. 本プログラム(GIP-TRIAD)では、日本人学生もしくは海外の留学生(主に台湾人などのアジア人、フランス人などの欧米人)のインターンシップ(1ヶ月程度を想定)を重視しています。貴社はインターンシップの制度をお持ちでしょうか？



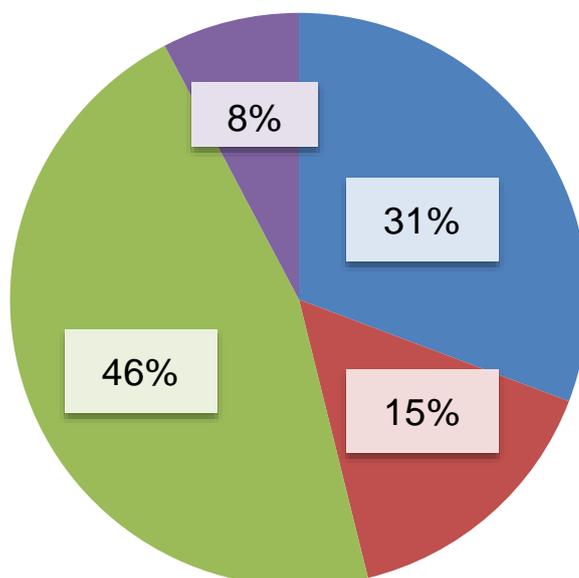
◇ 大企業から中小企業まで回答を得た 12 社全てでインターンシップ制度があるという結果が得られた(問 III-1)ことから考えると、インターンシップ(又はフィールドワーク)が日本よりも教育プログラムとして常識化されているということが、大きく影響しているかもしれない。また、産業界を牽引できる学生を育成するためのプログラムの明確化が重要視されているものと思われる。

Ⅲ-2. 本プログラム(GIP-TRIAD)を修了した学生は、世界で様々な体験をして、企業において大きな戦力として活躍することが期待できます。ただし、在学中は海外渡航などの負担が大きくなることが予想されます。仮に、学生の支援のために支援金(奨学金)制度などが整備できましたら、支援していただける可能性はございますか。



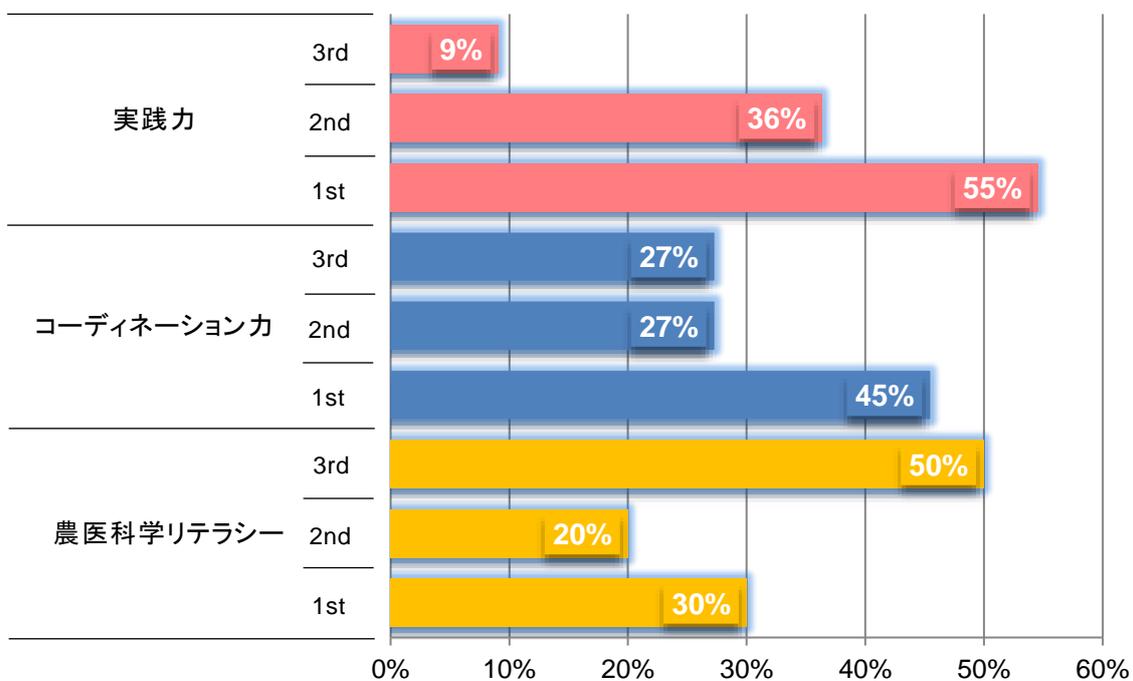
- ① 制度がある。
- ② 制度がない。
- ③ インターンシップの制度はないが、今後検討したい。
- ④ インターンシップに興味がない。

Ⅲ-3. 本プログラム(GIP-TRIAD)の修了生は、地球規模の課題に対して様々なフィールドでリーダーシップを発揮して事業やプロジェクトをコーディネート、マネジメントするような国際的に活躍できる高度職業人(グローバルイノベーション人材)となることが期待されます。貴社またはあなたが学生を採用する場合、本プログラムの特色である農学と医科学を融合した分野横断的な視点を養うカリキュラムでの学修や「海外武者修行」での経験を考慮しますか。



- ① 支援しても良いと考える。
- ② 詳しい話を聞いてから考える。
- ③ 今の所、支援する予定はない。

Ⅲ-4-1. プログラム(GIP-TRIAD)を修了した学生は世界で活躍することを期待しています。そのために身につけておくべき素養を大きく分けて、下記のように3つあると考えております。貴社(又はあなた)が重要と考える素養に順位を付けて下さい

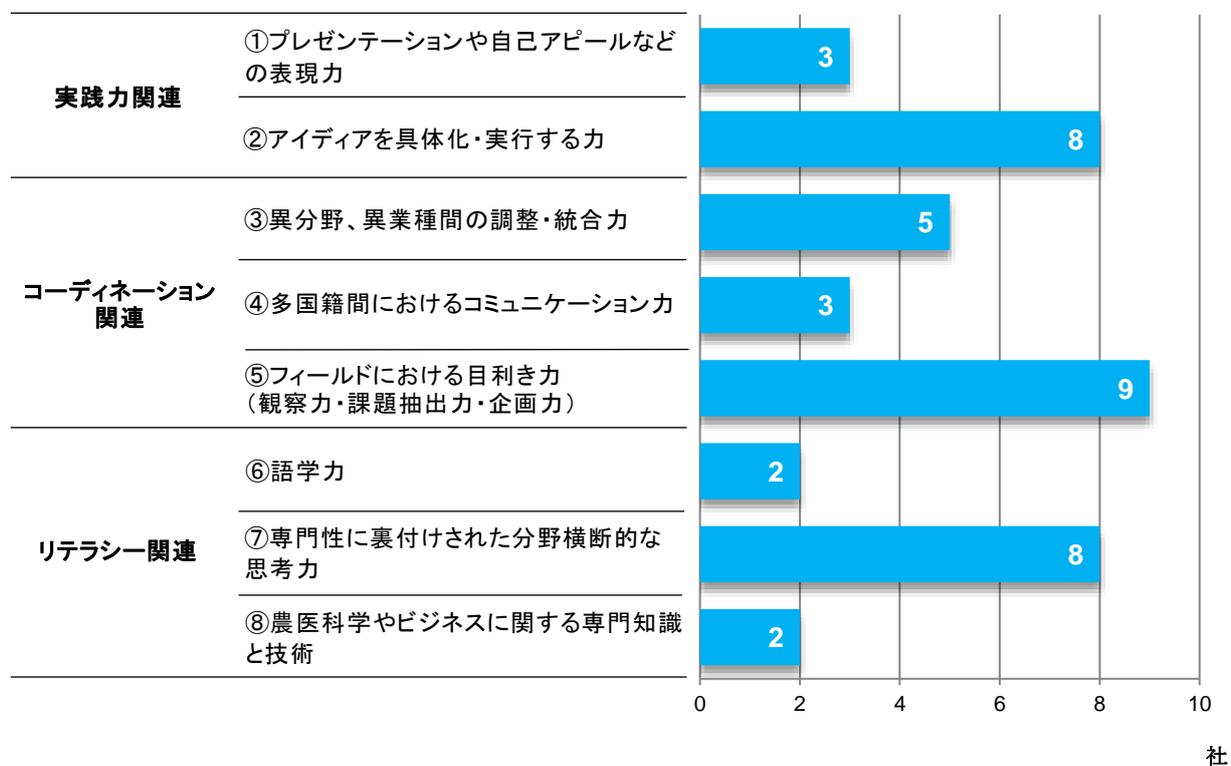


※パーセンテージは、各項目の順位(1位~3位)の合計を母数とした割合を示す。

各項目の母数は等しい。

※最も多くの人々が1位に選んだものは実践力。

Ⅲ-4-2. 4-1 で示した素養には、下記に示す項目が含まれています。貴社の既存事業、新規の事業展開から考えて特に重要とお考えの項目を3つお選びください。



## フランスの企業について

●新規なプログラムの受け止め方に対して、ヨーロッパ人らしい考え方が浮き彫りになっていると考えられた。

●大学院教育で何が重要であるかを各自の立場からコメントが回答されている。また、人を育てるという視点での教育にウェイトを置いた助言や産業界における有効性を期待させる内容があり、本プログラムをサポートする貴重な意見が見られた。

### 有益な自由記述の例示(引用)

・技術知識と言語知識は、好ましい相互理解と両者(自分と相手)を豊かにするために極めて重要である。

・学生が自分に自信を持ち快適に関心領域を開発(発展)できるようにさせること。それは、新しい課題を探索する入口となる。

・三つの異なる大学の各学期で教育を受け、最終学期でインターンシップを経験するシステムは賢明と考える。異なる国でインターンシップと講義があることは大変興味深いです。

・GIP-TRIAD は以下の理由から素晴らしいと思います。  
-異なった環境での国際化教育  
-健康や栄養学といった異なった分野の学習の組み合わせ  
-国際化を目指した科目に的を絞った点

・実際ラグランジュで3年前に会社の No2 を採用した際、彼は弱冠23歳でたまたまラグランジュにトレーニーとして来ていた学生でした。日本ではあり得ない抜擢採用が実現したのも、フランス流のトレーニーを含む教育システムがあればこそその産物です。ワイン醸造の専門知識のみならず、マネジメントに関するベースの知識は既にかかなりのレベルでした。また、トレーニーの期間中に彼が垣間見せた人のマネジメント能力の高さが決め手になったわけで、これは彼の天性の能力であるものの、トレーニーなどの機会があつて磨かれるものでもあります。日本人はどうしてもこういった体験の場が少ないため、社会人になってからの社内教育が重視されるのですが、今日の世界で活躍してもらうには若いうちにこういった勉強の場があることは重要だと思います。ぜひこういったプログラムが立ち上がり、明日の人材を輩出してくれることを期待しています。